

2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベルク

コード番号 9974

URL https://www.belc.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原島 一誠

専務取締役コンプライアンス室長兼財務

問合せ先責任者(役職名) 経理部・業務サポート部・サステナビリティ(氏名) 上田 英雄 (TEL) 049-287-0111

ティ広報室管掌兼法務担当

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	258,230	13.4	12,612	29.4	12,962	29.6	9,290	36.9
2023年2月期第3四半期	227,749	—	9,750	—	9,999	△6.6	6,784	△5.6

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 9,307百万円(36.6%) 2023年2月期第3四半期 6,815百万円(△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	445.70	—
2023年2月期第3四半期	325.28	—

(注) 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用しており、上記の連結経営成績は当該会計基準等を適用した金額となっておりますが、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年2月期第3四半期の営業収益及び営業利益の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	180,591	98,545	54.6
2023年2月期	169,306	91,304	53.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 98,545百万円 2023年2月期 91,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	45.00	—	49.00	94.00
2024年2月期	—	50.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	11.0	15,000	7.0	15,300	7.0	10,200	6.1	489.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	20,867,800株	2023年2月期	20,867,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	22,619株	2023年2月期	22,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	20,845,182株	2023年2月期3Q	20,856,585株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、一部で足踏みも見られるが、景気は緩やかに持ち直していくことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等により、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の持ち直しが見られるものの、消費者物価は上昇が止まらず、消費の二極化が起きており、昨年からの引き続きの世界的なエネルギー価格高騰による販売管理費の増加や、度重なる食料品の調達価格の上昇等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、お客様の値ごろ感に合った価格の訴求及びお客様に支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促やチラシ価格の強化、SNSを利用したおすすめ情報の発信を行い、幅広い層のお客様への来店動機を高めてまいりました。加えて4月には売上3,000億円を達成した記念として、豪華景品が当たる大型のキャンペーンを実施いたしました。ネットスーパー「ベルクお届けパック」、お客様のレジ待ちを解消しスマートなお買い物ができるサービス「スマベルク」は導入店舗を継続して拡大し、利便性向上を図ってまいりました。また、移動スーパー「とくし丸」も拡大展開を続け、高齢者等に対する買物支援の取り組みを進めました。

商品政策におきましては、プライベートブランド「くらしにベルク kurabelc (クラベルク)」を含めた自社開発商品の取扱いをさらに拡大し、毎日の暮らしにうれしい商品をお求めやすい価格にて順次発売いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤に、適正な人員配置、省力器具の活用、従来作業等の見直しや改善による効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。

店舗投資におきましては、新店を3店舗、2023年5月に東京都八王子市に「フォルテ八王子店」、6月に埼玉県和光市に「光が丘店」、9月に千葉県富里市に「フォルテ富里店」を出店いたしました。また、既存店5店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買い物空間を提供するための設備の更新を行いました。そのうちの1店舗である群馬県高崎市の「江木店」は、新業態の「クルベ」として7月にリニューアルオープンいたしました。なお、8月に埼玉県児玉郡上里町の「上里SC店」を閉店し、2023年11月末現在の店舗数は135店舗であります。

物流体制におきましては、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより、自社物流を活かした配送の高効率化等を行い、商品の価格強化と品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

一方、連結子会社である「株式会社ホームデリカ」は、製造能力の増強とおいしい商品の供給体制を構築し、店舗の効率化を図ってまいりました。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発、また、店舗の清掃業務等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益（売上高及び営業収入）が258,230百万円（前年同期比113.4%）、営業利益が12,612百万円（前年同期比129.4%）、経常利益が12,962百万円（前年同期比129.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益が9,290百万円（前年同期比136.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,284百万円増加し180,591百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,258百万円増加し36,940百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,923百万円及び商品及び製品が1,211百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,026百万円増加し143,650百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が2,403百万円及び土地が1,833百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ4,043百万円増加し82,046百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,272百万円増加し42,567百万円となりました。この主な要因は、買掛金が2,842百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ229百万円減少し39,479百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が397百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ7,241百万円増加し98,545百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が7,224百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、資源エネルギー・原材料価格の高止まりに加え、人件費や物流費の上昇を背景とした物価高が続いており、それらに起因する仕入価格の上昇を踏まえ、他社と比較した際の相対的な価格の安さを維持しながら、適時適切に販売価格を見直したこと、販売促進活動の強化等により客数が前年を上回ったことから、当初の想定を上回り、既存店売上高の前年同期比は108.6%となりました。

また、電気料金が、政府からの補助等により想定を下回ったことも合わせ、利益面においても、計画を上回るペースで推移しております。

今後におきましては、お客様満足度をより一層向上させるため、商品の徹底的な価格訴求及び各種キャンペーンを実施してまいります。さらに、今後の先行き不透明な状況に対応するため、効率的なチェーンオペレーションを実現する省力器具・備品の導入、既存店舗のメンテナンス等を行ってまいります。

上記の状況を踏まえ、2023年4月13日に公表いたしました2024年2月期の通期連結業績予想数値の修正を行っております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後開示すべき事項が発生する場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,579	17,502
売掛金	4,148	5,322
有価証券	—	1,000
商品及び製品	7,891	9,102
原材料及び貯蔵品	428	417
その他	4,634	3,594
流動資産合計	32,682	36,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,945	72,348
土地	40,288	42,121
その他（純額）	8,654	10,896
有形固定資産合計	118,888	125,367
無形固定資産	1,646	1,806
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	106	120
繰延税金資産	2,612	2,346
差入保証金	9,522	9,474
その他	3,903	4,591
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	16,089	16,477
固定資産合計	136,624	143,650
資産合計	169,306	180,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,940	22,783
1年内償還予定の社債	428	428
1年内返済予定の長期借入金	7,273	6,994
リース債務	258	87
未払法人税等	2,782	1,056
契約負債	515	580
賞与引当金	1,193	422
役員賞与引当金	91	60
その他	5,809	10,154
流動負債合計	38,294	42,567
固定負債		
社債	2,571	2,357
長期借入金	25,054	24,656
リース債務	245	191
役員株式給付引当金	27	54
預り保証金	5,143	5,235
資産除去債務	6,043	6,404
その他	622	578
固定負債合計	39,708	39,479
負債合計	78,002	82,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	83,373	90,598
自己株式	△118	△118
株主資本合計	91,270	98,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	19
退職給付に係る調整累計額	21	31
その他の包括利益累計額合計	34	50
純資産合計	91,304	98,545
負債純資産合計	169,306	180,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	223,853	253,921
売上原価	162,526	184,948
売上総利益	61,327	68,973
営業収入	3,895	4,308
営業総利益	65,223	73,282
販売費及び一般管理費	55,472	60,669
営業利益	9,750	12,612
営業外収益		
受取利息	29	27
受取配当金	1	1
受取事務手数料	74	78
受取退店違約金	—	2
債務勘定整理益	12	—
補助金収入	67	183
その他	140	161
営業外収益合計	326	455
営業外費用		
支払利息	71	89
社債利息	—	7
その他	5	8
営業外費用合計	77	105
経常利益	9,999	12,962
特別利益		
固定資産売却益	146	—
投資有価証券売却益	0	—
資産除去債務戻入益	—	20
特別利益合計	147	20
特別損失		
固定資産除却損	88	144
特別損失合計	88	144
税金等調整前四半期純利益	10,058	12,838
法人税、住民税及び事業税	2,988	3,288
法人税等調整額	285	258
法人税等合計	3,274	3,547
四半期純利益	6,784	9,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,784	9,290

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	6,784	9,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	6
退職給付に係る調整額	27	9
その他の包括利益合計	31	16
四半期包括利益	6,815	9,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,815	9,307
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。